

私は、練馬区議会公明党を代表して一般質問を行います。区長ならびに係理事者の誠意ある答弁をお願い致します。

最初に「女性が安心できる社会づくり」についてお伺いいたします。

二十一世紀は「女性の世紀」です。女性があらゆる分野で生き生きと安心して活躍できるよう配慮することの大切さを痛感しております。

はじめに子育て支援についてお伺いいたします。

厚生労働省によると無料で妊婦健診を受けられるよう市町村が公費負担し

ているのは、全国平均で二・八回であることが調査の結果分かりました。その中、練馬区では補正予算で本年度四月にさかのぼり、妊婦健診費用を二回から五回へと大幅拡充され、三回相当分費用として二万円の助成を始め、また新たに里帰り出産も対象にして頂き高く評価いたします。本年四月より杉並区で、また明年四月からは江東区で妊婦健診に対し完全公費負担となりました。当区におきましても妊婦健診完全無料化を強く要望いたしますが、区のご所見をお伺いいたします。

第二に子育て中の方がちょっとした

困りごとがあるときに「一声かけ運動」を推進してはいかがでしょうか。例えば電車やバスを利用する際に、バリアフリー化が進んでいない場所でのベビーカーの昇降は大変、負担です。近くにいらっしゃる方が一声かけてお手伝いができるようポスター等で呼びかけてはいかがでしょうか。実際、心ある方は声をかけて下さいますが、恥ずかしくて声をかけられない方もいらっしゃいますので、ぜひ区で標語などを募集し推進してはいかがでしょうか。ご所見をお伺いいたします。

第三に最近、ワークライフバランス

(仕事と生活の調和)が求められておりますが、少子高齢化が進むなかで、子育ての世代をはじめ、働く人すべてが仕事と生活のバランスよく調和させるための環境整備は喫緊^{きっきん}の課題であります。練馬区におきましての、育児支援ヘルパーやひとり親家族、高齢者、障害者のホームヘルプサービスが大変充実してきていることを高く評価いたします。今後は、仕事をする区民の方が、やりがいのある仕事と充実した私生活のバランスをとりながら、自分の持っている能力を最大限に発揮できるよう、働く人への家事支援サービスを

提供してはいかがでしょうか。区のご
所見をお伺います。

第四に一人暮らしの若い女性は、地
域との交流を持ちたいと思っ
ていても、どのように参加したら
良いのか、わからないという声
が寄せられました。区報等には
あらゆる情報が掲載されてい
ますが、若い世代は紙面の媒体
から情報を得るより、今は携
帯モバイルでの情報を得ること
が主であります。ちょっとした
時間に、いつでもどこでも携
帯で検索できると、より若い
人が地域の活動に参加しやす
くなると思います。現在練馬
区の携帯モバイルは大変見づ

らいとのご指摘があります。たとえば、区の情報内容も、現在高齢者向け「(仮称)社会参加ガイドブック」を作成中のようですが、同じように若者向け社会参加ガイドブック情報の提供や、特に女性専用ページを作成し検索しやすいように改良を要望いたします。区のご所見をお伺いいたします。

第五に女性センターなどを利用して、気軽に若い女性が参加しやすい講座を開催されるよう要望いたします。

例えば「構成的グループエンカウンター」を行なってはいかがでしょうか。この構成的エンカウンターとはホンネ

を表現し合い、それを互いに認め合う体験のことです。この体験が、自分や他者への気づきを深めさせ、人とともに、生きる喜びやわが道を力強く歩む勇気をもたらす講座です。

リーダーの指示した課題をグループで行い、そのときの気持ちを率直に語り合うこと「心と心のキャッチボール」を通して、徐々に「エンカウンター体験」を深めていくものです。現在このような講座を行なっている大学では、学生たちに人気の講座となっております。当区でも開催されることを要望いたしますが、ご所見をお伺いいたします。

す。

第六に先日も防犯対策で中学生を対象にセーフティ教室が開催されましたが、働く女性からも護身術を学んでみたいとの声が上がっております。女性を犯罪から守るためにも土日や平日の夜にセーフティ教室の開催を要望します。ご所見をお伺いいたします。

第七に地域を学びたいとの声もあり、「ご当地検定」などを真似て、例えば「練馬産、野菜検定」を実施するなど提案をするものです。合格者には練馬産野菜ソムリエとの称号を与え、練馬の野菜を友人知人に全国的にアピール

できるよう取り組まれたいと思います
がご所見をお伺いいたします。